

誤飲

トイレの洗剤・灯油などは吐かせず直ぐに病院へ！

強酸性・強アルカリ性の洗剤、漂白剤などを誤って飲んでしまった場合、吐かせるともう一度口や食道の粘膜を傷めることになるので絶対に吐かせてはいけません。直ぐに病院へ行きましょう。

石油製品（灯油、シンナー、ベンジン）など揮発性のもは気管に入ると肺炎を起こす恐れがあるので、絶対に吐かせてはいけません。この場合も直ぐに病院へ行きましょう。

※判断がつかないときには、中毒 100 番に問い合わせてみましょう。

毒性の低いものは水や牛乳を飲ませて吐かせる！

日常生活用品（化粧品・シャンプーなど）の毒性はそれほど高くありません。また、誤って飲んでしまってもあまりおいしくないもので、少量しか飲んでいないことが多いようです。慌てずに、どのくらい飲んだのかを確認しましょう。

タバコの誤飲が一番多いですが、少量なら赤ちゃんにあまり影響はありません。

※水をたくさん飲ませると毒性が薄められるので、応急手当の基本は水や牛乳を飲ませて吐かせることです。

哺乳瓶やコップなど赤ちゃんが飲みやすい方法で少しでもたくさん飲ませてあげて、舌の奥を押して吐かせます。吐いたものの色や性状、量を観察して下さい。水を飲ませて、吐いた後も機嫌よく遊んでいれば様子を見ます。しかし、うまく吐かせることができないときは、水で薄めた段階で早めに病院へ行きましょう。しばらくして吐く、口の周りがただれるなどの症状が出たら病院へ行きましょう。何をどのくらい食べたかわからない場合は、必要に応じて病院で胃洗浄などの処置をします。

誤飲物質	対応			
	心配ない	様子を見る	医師の所へ	家庭における応急処置
せっけん	1g 未満		10g 以上	水か牛乳を飲ませるが、吐かせる
漂白剤		2ml 未満	2ml 以上	水か牛乳を飲ませるが、吐かせない
化粧水	1ml 未満		10ml 以上	水か牛乳を飲ませるが、吐かせる
マニキュア除光液		1ml 未満	1ml 以上	水か牛乳を飲ませるが、吐かせない
日焼け止めクリーム・ローション	1g 未満		10g 以上	水か牛乳を飲ませるが、吐かせる
オムツかぶれ用軟膏	1g 未満		5g 以上	水か牛乳を飲ませるが、吐かせる
煙草	少量なら	1/2 本未満	1/2 本以上	水か牛乳を飲ませるが、吐かせる
ボタン型電池			飲んでいれば	すぐ医師へ
ライター液（オイルライター液）		1ml 未満	1ml 以上	水か牛乳を飲ませるが、吐かせない

病院へ行く目安は？

- 意識がない場合は救急車を呼ぶ
- 吐かせてはいけないものを飲んだときはすぐに救急車を呼ぶ
- 吐かせるべきものは、吐かせてから受診する
- 様子を見るものは水分を取らせて自宅で様子を観察し、念のために受診する
- 病院へ行くときは、必ず飲んだものの容器や残りを持参する

処置に困ったら中毒 110 番へ…

中毒 110 番は、専門家が誤飲事故の相談に応じてくれます

- ・ つくば中毒 110 番 Tel.0298-52-9999 (9 時～17 時/12.31-1.3 を除く)
- ・ 大阪中毒 110 番 Tel.06-451-9999 (24 時間無休)

